

はじめて

私は、イタコの祖母から靈感を受け継ぎ生まれてきました。だからでしょうか、小さい頃から、靈感がありました。しかし、小さい頃の霊の思い出といえは怖いものばかりで、もう靈感なんてなくなってしまうばいいと思つたことも何度もありました。でも、今となってはその靈感を人々の支えにしてもらえていることを誇りに思っています。

そのきっかけとなつたのは、すべては蜂の巣ができてからでした。大学でいじめに遭つて辞めたいと言ひ出す娘、将来のことで不安になり動くにも動けないフリーターの息子。そして、お風呂周りの水関係がダメになり、私たち家族は家にすら住めなくなりました。負の連鎖が続いている間に蜂の巣はでき上がっていました。今度は蜂の巣までできるのかとも思いました。何から手をつけていいのかわかりませんでした。でも、その蜂の巣ができてから、すべてのことが急展開しはじめたのです。幸せになれる道へ導いてくれたのです。その蜂の巣を私が写真に収めようとしたとき、蜂の巣から白いキラキラした光の線があふれてきました。

そして次の日、色とりどりの鳥たちが私のバルコニーにだけ行列のように並んでいました。

「何かある。でも何をしたらいいの？」

これは宿命だと思いました。それから私は、お会いする人やブログで蜂の巣の力を伝えていきました。もっと多くの方に、その力のことを伝えて幸せな人生を歩んでほしいと思ったからです。今回は出版という方法を取らせていただくことができました。

蜂の巣の写真を持つていると、まず人間関係から変わってきます、そして必ずチャンスがやってくる。そのチャンスは遠回りに見えるかもしれない。しかし、一番の近道なのです。たしかに近道なので、荒道なときもあります。意味がないように感じるときもある。なんの意味もないような出来事こそが本当は一番意味があつて、通らないといけない道だったりするのです。そのことを実体験として現実を持つてきてくれる蜂の巣です。

今生きていることがつらい、どうしていいかわからない、不安で不安でしようがない方はぜひ、蜂の巣を信じてみてください。あなたを一番、最適な道に導いてくれると思います。その道がつらいと感じたときにもう一度、この本を見返していただければと思います。この本を読んですべての方が幸せになれること、チャンスがあることに気づいていただければ幸いです。